

住民の防災意識を高め、 マンションの防災力を向上させる

問い合わせ
住宅政策課
☎214・8306
FAX268・2963

高層階からの避難や水や食料の調達など、震災時に高層建物特有の課題が浮き彫りとなった経験を踏まえ、防災に取り組むマンションが増えています。

市の「杜の都防災力向上マンション認定制度」をきっかけに防災に取り組んでいる「グリーンキャピタル長町Ⅱ管理組合」を取材しました。



▲防災訓練で行われた階段避難訓練



▲完成した防災マニュアル



▶「防災性能」・「防災活動」をそれぞれ星の数（最大3つ星）で認定し、合わせて最大6つ星で評価する認定マーク

「杜の都防災力向上マンション認定制度」は、マンションにおける建物の防災性能の向上や防災活動のさらなる充実を図ることを目的に、建物の「防災性能」と住民による「防災活動」の両面から防災力を認定する本市独自の制度です。

「この認定を目標に4年かけて防災に取り組んできました」と話してくれたのは、太白区にある14階建てのマンション「グリーンキャピタル長町Ⅱ」の管理組合理事長の武山浩さん。

理事会では、マンションに講師を招いて、防災について学びながら、独自の防災マニュアルを作成し、災害時の役割分担や活動フローなどを定めました。また、防災資機材を準備するとともに、各世帯に安否確認ステッカーを配布、さらに防災訓練も実施してきました。

「理事会で一つ一つ話し合い、協力しながら進めました。こうした活動が住民同士の顔の見える関係づくりにもつながりました」と武山さんは話します。



▲「今がスタートライン。今後も防災力の向上に努めていきたい」と話す武山さん

マンションでは2年ごとに住民アンケートを実施。アンケートを重ねるにつれ、災害時の応援ボランティアを希望する住民が増え、防災意識が高まっているように感じているそうです。

7月には、マンションの自主防災組織の設立発足式を開催。式には、地域との連携は不可欠であり、今後もつながりを深めていきたいとの思いから、地域の町内会や近隣のマンションの方なども招きました。

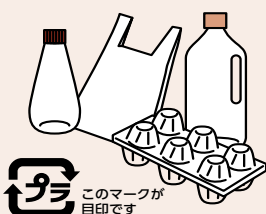
武山さんは「防災は続けることが大切。これからも親子を対象とした防災教育など、さまざまな視点から防災について学ぶ機会をつくり、皆さんの意識がさらに高まるよう、熱意をもって取り組んでいきたい」と意気込みを語ってくれました。

ごみ減量・分別の豆知識

追跡！ プラスチック製容器包装の行方

ワケアップ! 仙台

皆さんが分別して出しているプラスチック製容器包装が、どんなものに生まれ変わっているのか気になりますか。市では、施設での処理作業を経て、フォークリフト用のパレットや土木資材などの原料として再資源化されます。



プラスチック製容器包装も、分別すれば原油に代わる資源となります。引き続き、分別のご協力をお願いします。

問家庭ごみ減量課☎214・8229、FAX214・8277

知って役立つ！ ワンポイント防災講座

帰宅困難者にならないために！

災害は、必ずしも自宅にいる時に発生するとは限りません。多くの人が一斉に帰宅しようすると、駅などでは混乱が予想されます。帰宅困難者にならないために、各自が日頃から備えておくことが大切です。

●徒歩で帰宅できるように、職場には運動靴や飲料水、携帯ラジオ、タオルなどを準備。また、職場に宿泊する場合も想定して食料や下着、ウェットティッシュなども備えておきましょう

●「171」（災害用伝言ダイヤル）の利用など、家族との連絡方法を決めておきましょう



問減災推進課☎214・3048、FAX214・8096